



【平成30年度 校内研修 研究主題】
主体的に学び，夢実現に向けてともに努力する生徒の育成
～支持的風土の醸成を図る活動を通して～



「カリキュラム・マネジメント」を生かした指導計画へ 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業へ

【知】授業実践研究部

【徳】道徳研究部

【体】調査研究・各領域連携部

具体的な取り組み内容	担 当
●教科授業実践 ・主題にせまる授業改善 ・学習規律「授業の10箇条」の徹底 ・宿題と家庭学習との連動 ●諸学力調査の取組と活用 ●教科会の充実 ・学年の連携と3年間を見通した ・教科指導，小中高連携 ●研究授業の企画運営	★マック 森下 佐渡山 内原 南(武) 宮良(知)

具体的な取り組み内容	担 当
●主題にせまる道徳授業実践 ●道徳の教材開発と資料収集 ●人権教育との連携(人権の日の実施)	★照屋 大盛 兼松 田内 前底 パドロン 工藤 長間 米城 豊見本 宮里

具体的な取り組み内容	担 当
●各領域と連携した学力向上の推進 ・行事，部活動，生徒会，特別活動 ●家庭・地域と連携した学力向上の推進 ・地域人材や題材の活用 ●二中ノートの推進 ●諸学力調査の分析・考察 ・PDCAサイクル	★仲盛 神里 南(慎) 高原 上唐 西表 島田 前宇根底 伊敷 大浜

平成30年度 学力向上推進における特色ある取り組み等について

●授業力向上について

- 1 たて持ち授業の実施【全教科・全学年】
同学年を担当する複数教員(ベテラン・中堅・若手)が協働して授業づくりを行います。授業の質の向上と指導方針や評価基準をそろえ，授業の質を高めます。
- 2 教科部会の充実
授業づくりのための教科部会を週時程に位置づけ，「ねらい」や「まとめ」，授業形態等について協議します。「授業ノート」の共有や「単元指導計画」を複数の担当教諭で作成します。
- 3 研究授業・互見授業の実施
年3回の研究授業に加え，全職員が1回以上授業を公開し，教科・学年を超えた実践の共有と授業改善に努めます。

●つなぐ・そろえる・積み重ねる 実践

- 1 つなぐ
○校区内小学校との共通実践(教科用語・記号の使い方の統一等)
○授業を中心に「学びに向かう力」の育成(家庭学習の習慣化，定着を見取る評価問題・各種テスト)
- 2 そろえる
☆全学級統一レイアウト(教室前後・黒板には何も貼らない)や定期テストの様式の統一
☆めあて(学習課題)と正対したまとめ，振り返りの確実な実施(石垣市スタンダード)
☆授業規律の徹底(授業のきまり十箇条，リーダー研修会)
- 3 積み重ねる
□朝の始業前の黙想礼(1日の目標設定)
□二中生活の「はじめの一步」の確認(充実した学校生活のためのプログラム)
□講座・補習指導の充実(各検定試験対策・授業の学び直し・SUT不合格者・家庭学習)

授業のきまり十箇条 【石垣第二中学校】

- 一、授業が始まる前に身なりを整え，勉強道具を準備しておく。
- 二、勉強道具の貸し借りはせず，忘れた場合は教科担任に申し出る。
- 三、着席して授業の開始を待つ。
- 四、校長は，きちんと準備ができているか確認して号令をかける。
- 五、開始「起立。気をつけ。(ハイ)これから○校時の○○の授業を始めます。礼。」(全員で)「宜しくお願いします。」(着席)
- 六、お喋りしないで，正しい姿勢で授業を受ける。
- 七、授業中，先生の許可なく席を離れない。
- 八、受け答えは敬語をつかい，先生が話しているときは質問をしない。
- 九、机や椅子，プリントなどに落書きはしない。
- 十、配布されたプリントはすぐにファイルに綴る。

授業に集中してしっかり考え，分からないところは質問する。

